

## ～令和3年度 人権教育講演会～

令和4年1月16日(日)に人権教育講演会を行いました。講師は、磯村 靖幸(いそむら やすゆき)様で、光市在住で、生まれたときから視覚障害がありながらピアノという楽器に出会い、その演奏に才能を発揮され、現在まで多くの人に感動と努力することの大切さを伝えておられます。

またこれまで、1995年24時間テレビ「愛は地球を救う」や2013年TBS「中居正広の金曜日のスマイルたちへ」などたくさんご出演されています。

この度は、「個性を生かし、可能性を広げる」を演題にご講演をいただきました。

生徒の感想は、「自分の好きなことを根気強く続けることの大切さが分かった」「嫌いではなく、好きではないという前向きな言葉を使う生き方を真似したいと思った」「自分の個性を発揮してこそその自分であり、個性があるからこそ本来の自分を築けていけると思った」などがありました。

このご講演を通して、生徒は、「できない」から「諦める」ではなく、「楽しい・好き」だから「続ける」ことを大切にしていき、個性を生かすことで可能性が広がられると考える機会となりました。障害があっても同じ人間であることを理解し、平等に接しお互いに支え合って生きていける社会になるとよいことに気づくことができました。



講師  
磯村 靖幸 様

演題「個性を生かし、可能性を広げる」

## ～全校人権教育授業～

<1年生>

- ・性別や人種だけで差別をしてはいけないとわかりました。それぞれの違いがあるからそれをみんなで認め合うことで仲が深まると思います。
- ・「あっていい違い」には主に理由があり、人それぞれの個性を大事にしているから生まれた違いであることがわかりました。

1年生 『ちがいのちがい』



[生徒の感想文の一部をご紹介します。](#)

2年生

『招かれなかったお誕生日会』



3年生 『タヤけがうつくしい』



<3年生>

- ・自分の見えていること、知っていることがすべてではなく、自分の知らないところで、北代さんみたいな人が生きていたことがわかりました。
- ・字を書けるようになったことで世界の見え方が変わった色さんの気持ちを想像して感動しました。

<2年生>

- ・生まれたところや皮膚、目の色などで、人のこれからの人生を否定するような大人になりたくないと思いました。
- ・差別をしない、させない世の中になるよう、自分にできることを進んでしたいです。